

母性看護学概論	講師：	2 年前期	1 単位（30 時間）
<b>授業の目標</b> I 母性の概念・母性看護の目的・機能・役割を理解する。 II 母子保健の動向を学び、母性看護の課題や必要性を理解する。 III 女性のライフサイクルにおける健康の保持・増進、次世代の健全育成を目指した看護を理解する。			
<b>授業の内容</b> <div> <div> 1 母性看護の基盤となる概念  (1) 母性とは、父性とは、親性とは  (2) リプロダクティブ・ヘルス／ライツ  (3) セクシュアリティ  (4) ヘルスプロモーション  (5) 母性看護のあり方 </div> <div> 4 母性看護を取り巻く社会の変遷と現状  (1) 歴史的変遷と現状  ①母性看護の変遷  ②母子保健統計からみた動向  ③母性看護に関する法律  ④母子保健施策からみた現状  ⑤母子保健の国際化  (2) 対象を取り巻く環境  ①母性看護にかかわる機関  ②母性看護に携わる職種 </div> </div> <div> 2 母性看護の対象の理解  (1) ライフサイクルに伴う形態・機能の変化  (2) 母性の発達・成熟 </div> <div> 5 母性看護に関連する生命倫理  (1) 出生前診断  (2) 不妊治療  (3) 人工妊娠中絶 </div> <div> 3 女性のライフステージ各期の看護  (1) 思春期の健康と看護  (2) 成熟期の健康と看護  (3) 更年期の健康と看護  (4) 老年期の健康と看護 </div> <div> 6 不妊症患者の看護  (1) 不妊とその原因  (2) 不妊検査  (3) 不妊治療  (4) 不妊夫婦の看護 </div>			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門分野 母性看護学（1）母性看護学概論 医学書院			

母性看護学方法論Ⅰ (妊娠期・分娩期の看護)	講師：	2 年前期	1 単位 (30 時間)
<b>授業の目標</b> Ⅰ 妊娠期・分娩期に必要な看護及び保健指導を理解する。 Ⅱ 正常を逸脱した、妊婦・産婦の看護を理解する。			
<b>授業の内容</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;">           1 妊娠期の理解と看護            (1) 妊娠の経過              ①身体的特性                ・妊娠の生理                ・胎児の発育と生理                ・母体の生理的变化              ②心理・社会的特性                ・妊婦の心理の特徴                ・妊婦と家族及び社会                ・親役割の準備            (2) 妊娠経過の診断              ①妊娠の徴候と診断              ②胎児健康度の診断            (3) 妊婦の看護              ①妊婦の健康管理              ②妊婦の生活指導              ③分娩準備教育            (4) 正常を逸脱した妊婦の看護              ①ハイリスク妊娠・異常妊娠              ②ハイリスク妊娠・異常妊娠時の看護         </div> <div style="width: 48%;">           2 分娩期の理解と看護            (1) 分娩の経過              ①身体的特性                ・分娩の生理                ・分娩の3要素                ・分娩の機序              ②心理・社会的特性                ・分娩期の情緒の変化                ・夫及び家族の心理            (2) 産婦及び家族への看護              ①分娩前徴と入院時の看護              ②分娩1～4期の看護              ③陣痛、破水、後陣痛              ④呼吸法・補助動作            (3) 正常を逸脱した産婦の看護              ①異常分娩              ②異常分娩時の看護              ③帝王切開術後の看護         </div> </div>			
<b>授業方法</b> 講義 校内実習 レオポルド触診法 (モデル)、胎児心音聴取 (モデル) NSTの装着 (モデル)、腹囲・子宮底測定 (モデル)			
<b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門分野 母性看護学 (2) 母性看護学各論 医学書院			

母性看護学方法論Ⅱ (産褥期・新生児の看護)	講師：	2年後期	1単位(30時間)
<b>授業の目標</b> Ⅰ 産褥期に必要な看護を理解する。 Ⅱ 新生児の看護を理解する。 Ⅲ 産褥期にある対象への看護過程の展開方法を理解する。 Ⅳ 正常を逸脱した褥婦の看護を理解する。			
<b>授業の内容</b> <div> 1 産褥期の理解と看護  (1) 産褥期の経過  ①身体的特性  ・産褥期の正常な経過  ②心理・社会的特性  ・褥婦の心理、褥婦の家族の理解  (2) 日常生活とセルフケア  ①子宮復古促進のための援助  ②母乳栄養確立のための援助  ③母子関係成立への援助  ④家族を含めた退院後の生活指導  (3) 正常を逸脱した褥婦の看護  ①産褥期の異常  ②異常産褥の看護  ・子宮復古不全  ・乳汁分泌不全  ・産後の精神障害 </div> <div> 2 新生児の理解と看護  (1) 出生直後の新生児の看護  (2) 正常新生児の生理  (3) 新生児の看護の原則  ①保温  ②栄養  ③感染防止  ④母子関係の確立 </div> <div> 3 褥婦の看護過程の展開  (1) 子宮復古促進のための援助  (2) 乳汁分泌促進のための援助  (3) 親役割獲得のための援助 </div>			
<b>授業方法</b> 講義 演習 看護過程の展開 <b>評価方法</b> 筆記試験 レポート(褥婦の看護)			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門分野 母性看護学(2) 母性看護学各論 医学書院 写真でわかる母性看護技術アドバンス インターメディカ			

母性看護学方法論Ⅲ (母性看護に必要な技術)	講師：	2 年全期	1 単位 ( 1 5 時間)
<b>授業の目標</b> I 産褥期に必要な看護技術、保健指導を習得する。 II 新生児に必要な看護技術を習得する。			
<b>授業の内容</b> 1 母性看護に必要な技術 (1) 子宮復古促進のための援助技術 ①産褥体操 ②骨盤底筋群体操 ③マタニティヨガ (2) 授乳に伴う援助技術 ①乳頭・乳房の観察 ②乳頭・乳房の手入れ ③乳頭・乳房トラブル時の手入れ ④授乳姿勢と吸着 (3) 新生児の看護技術 ①バイタルサイン ②抱き方 ③沐浴、ドライケア ④おむつ交換 ⑤哺乳			
<b>授業方法</b> 講義 校内実習 子宮復古促進の援助 授乳時の援助 新生児の援助 <b>評価方法</b> 筆記試験 実技試験 (沐浴)			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門分野 母性看護学 (2) 母性看護学各論 医学書院 写真でわかる母性看護技術アドバンス インターメディカ			